学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法
科目コード：120317

在宅看護学概論 Introduction to Home Care Nursing

担当教員	桜井志保美				
実務経験					
開講年次	2年次後期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	在宅看護の概念、在宅の対象理解、訪問看護、社会資源、ケアマネジメント、地域包括ケアシステム				
学習目的・目標	【目的】 在宅看護の歴史や在宅看護が必要とされる社会的な背景を踏まえ、在宅看護の概念と対象・活動の場・活動方法の特徴、及び在宅看護の役割と課題を説明することができる。 【目標】 1. 在宅看護が必要とされる背景と在宅看護の概念について理解する。 2. 在宅看護の対象、活動の場、看護活動の特徴について理解する。 3. 在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源について理解する。				

授業計画・内容

回	内容
1	在宅看護が必要とされる社会的な背景、在宅看護の目的と特徴
2	在宅看護の対象
3	在宅看護の活躍の場と看護活動
4	地域包括ケアシステム
5	在宅ケアを支える法・制度・社会資源
6	訪問看護制度
7	訪問看護の展開
8	在宅看護における倫理的課題と対応

教科書	河原加代子他：系統看護学講座 地域・在宅看護の基盤、医学書院
参考図書等	
評価指標	課題レポート･授業態度25％、定期試験75％
関連科目	看護の基本の科目、社会福祉論、保健医療福祉論、生命倫理
教員から学生へのメッセージ	地域で生活する人と家族を対象に予防から療養支援・看取りまでの生活を看護の立場で支援します。家庭で療養生活を送っている人々や障害児者、そして高齢者の生活の質を追求する上で、看護職の役割は重要であり、そのために責任や期待も大きいといえます。よりよい在宅生活への支援とは何か、共に考え、学びましょう。